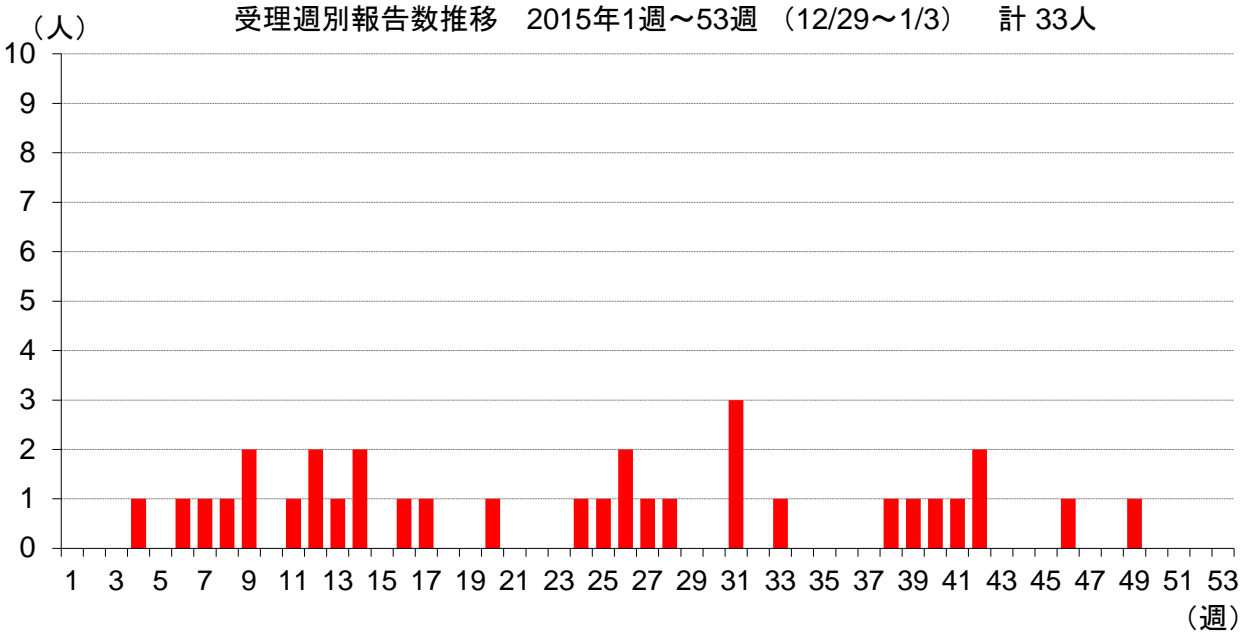


# 都内における風しんの発生状況（2015年第1週から53週）

東京都健康安全研究センター

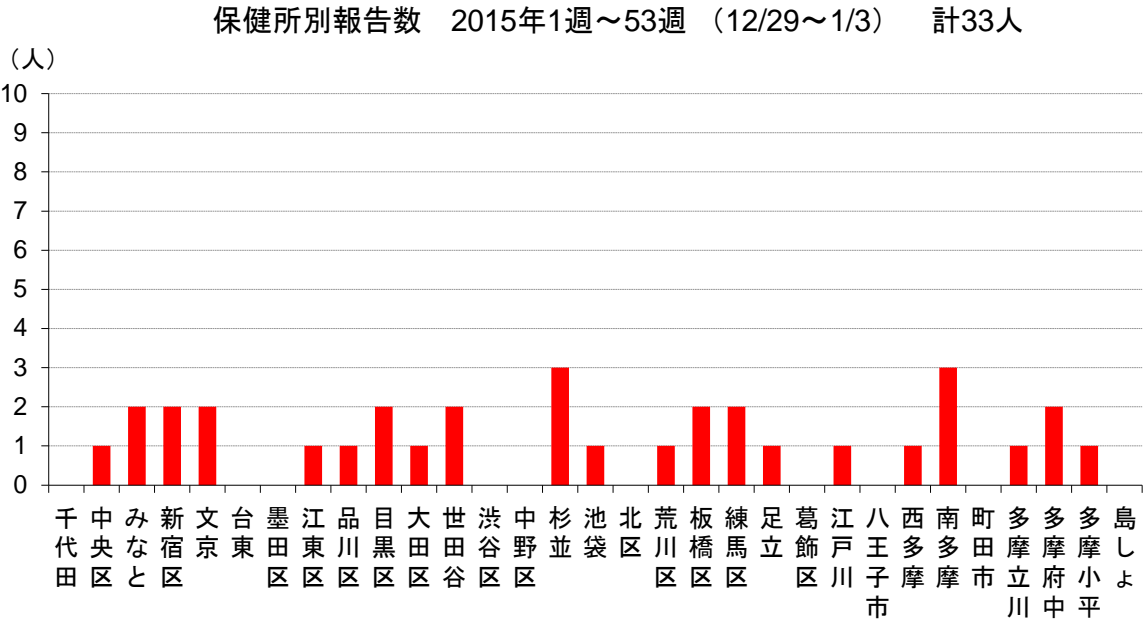
## 1. 患者報告数

2015年の年間患者報告数は33人であった。いずれも散発例だった。



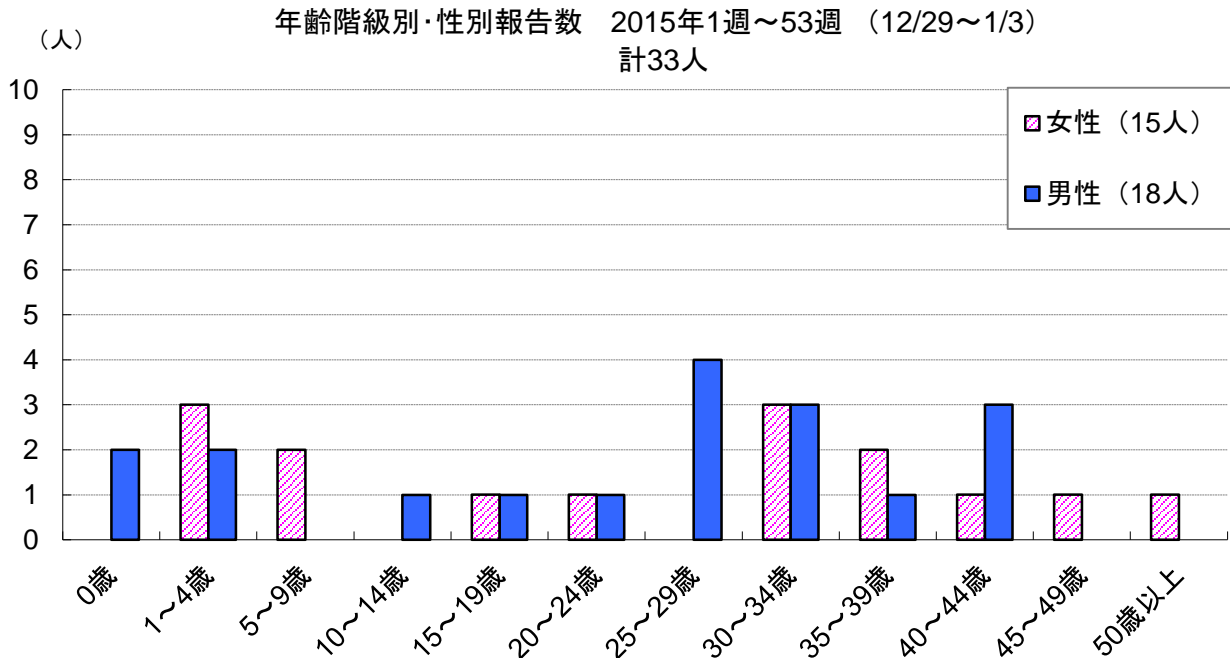
## 2. 保健所別報告数

31保健所中 21保健所から、1人から3人の報告があった。



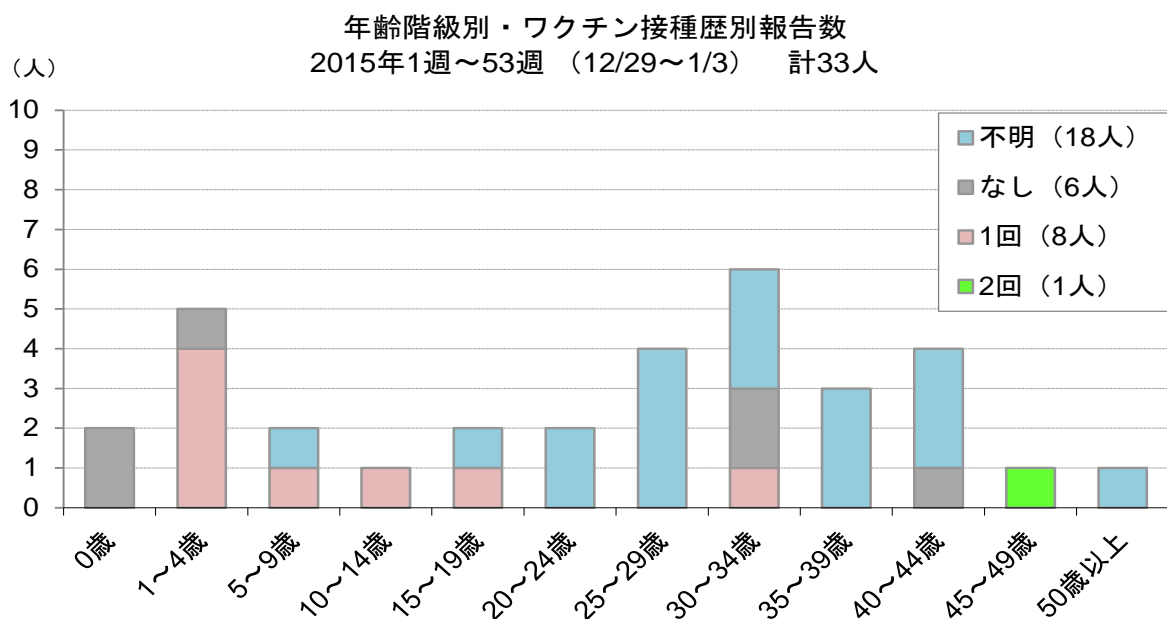
### 3. 年齢階級別・性別報告数

性別は男性 18 人、女性 15 人と男女の差はあまりなかった。年齢階級別・性別でみると、報告数が多いのは 25 歳から 29 歳の男性（4 人）、40 歳から 44 歳の男性、30 歳から 34 歳の男女、1 歳から 4 歳の女性（各 3 人）であった。



### 4. 年齢階級別・ワクチン接種歴別報告数

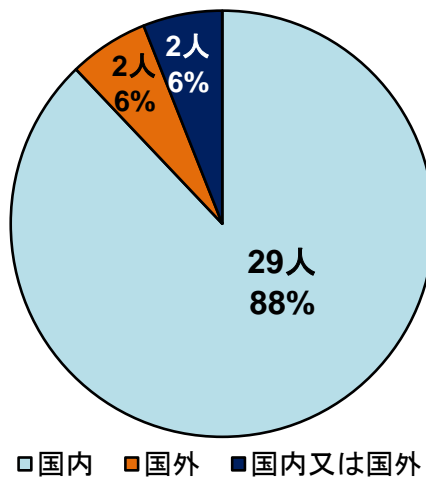
ワクチン接種歴別でみると、2回接種が 1 人、1回接種が 8 人、接種なしが 6 人、不明が 18 人であり、接種なしと不明を合わせた割合は 72.7%であった。20 歳以上では接種不明が多かった。



## 5. 推定感染地域

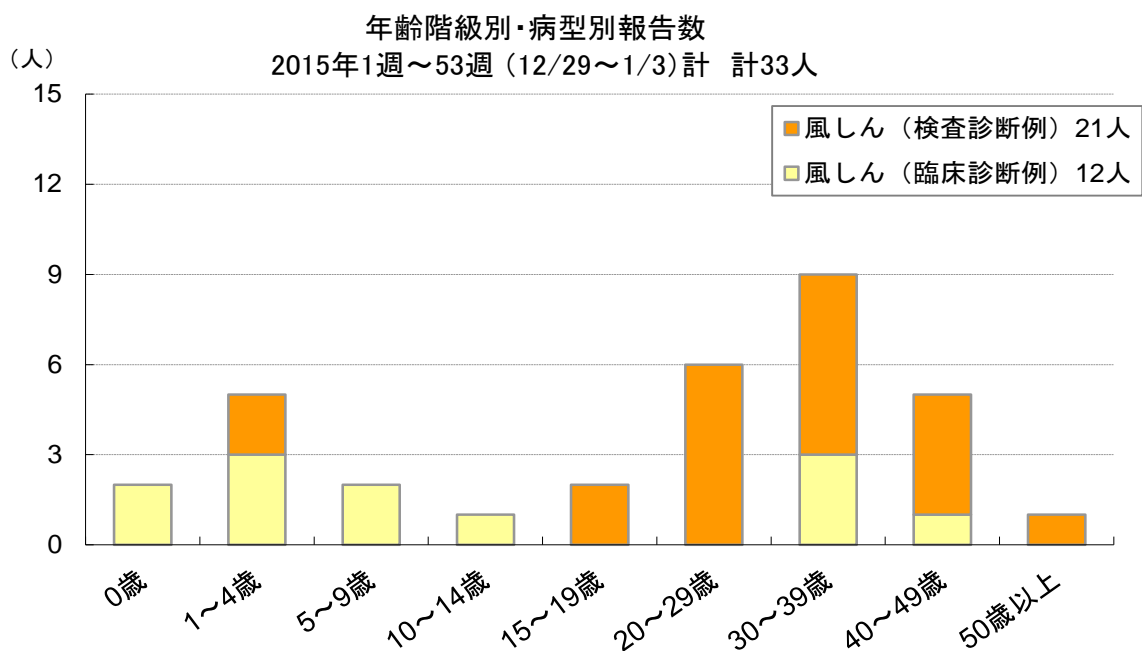
推定感染地域は「国内」が 29 人（88%）、「国外」2 人（6%）、「国内又は国外」が 2 人（6%）であった。

推定感染地域  
2015年1週～53週（12/29～1/3）  
計33人



## 6. 年齢階級別・病型別報告数

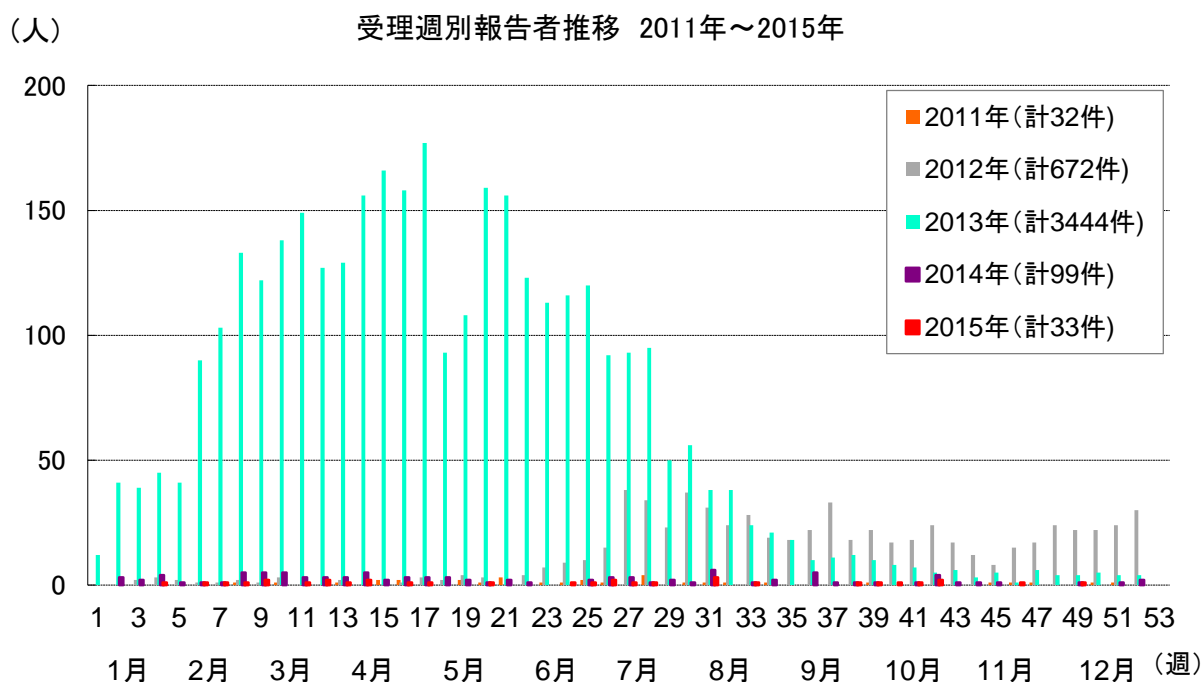
病型別でみると、検査診断例が 21 人、臨床診断例が 12 人と検査診断例の方が多かった。また年齢階級別・病型別でみると、14 歳以下は臨床診断例が多く、15 歳以上では検査診断例が多かった。



<参考>

1. 風しん患者報告数の推移（2011年～2015年）

過去5年間でみると、2015年は大流行した2013年前の2011年と同等の報告数となった。



2. 先天性風しん症候群（CRS）患者報告数の推移（2011年～2015年）

2015年の患者報告は、東京都のみならず全国でもなかった。

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
東京都	0	0	13	3	0
全国	1	4	32	9	0
(報告があった自治体)	群馬	兵庫(2)、 埼玉・香川(1)	大阪(5)、愛知・ 三重・和歌山(2)、 栃木・千葉(1)	福島・千葉・ 新潟・大阪・ 兵庫・島根(1)	

※2005年から2010年までの5年間も、東京都でのCRS報告はない。